

# 輸出事業計画

※申請者名：みやぎ登米農業協同組合、品目：コメ

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

- 管内は北上川、迫川が流れ、ラムサール条約指定登録湿地である伊豆沼及び長沼があり、豊富な水源を有する肥沃な穀倉地帯。管内全域で農薬や化学肥料をできるだけ少なくして栽培した「環境保全米」運動を展開。
- 海外における日本食人気を踏まえ、農家所得の向上と将来の販路拡大を見据え、平成29年度から輸出の取組を開始。
- 輸出先は、香港を中心に、アメリカ、シンガポール。レストラン等の業務用をメインに、現地スーパーへも販売。

|        | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------|--------|-------|-------|
| 輸出量（t） | 938    | 1,835 | 2,425 |

### 【課題】

#### <生産段階>

- 現地の低価格米との価格競争から、低価格で安定した品質のコメの供給が求められており、生産コスト低減とともに生産者の再生産可能な所得確保が課題。

#### <流通・加工段階>

- 香港向けでは、鮮度維持の観点から脱気加工商品の需要があるが、輸送などの際に、接触による破袋などのおそれがあり、貨物取扱に注意が必要。

#### <販売段階>

- 香港、シンガポールでは、レストラン等で安価な米の需要があり、小売店では中間層や富裕層の購入者が多く銘柄米の需要があることから、各用途のニーズに対応した米の安定的な提供が必要。
- アメリカでは、米国産米との価格差を縮めるとともに、日本米のこだわりや品質の良さの訴求が必要。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

### <生産段階>

- 担い手経営体の大規模化や農地の集約化、多収性品種（つきあかり）の導入等により低コスト生産に取り組む。

### <流通・加工段階>

- 現地到着までの脱気加工商品の貨物の取り扱いについては、パレット周囲に破袋防止のための緩衝材（ダンボール）を設置する対策を行い、注意を払いながら、現地需要に合わせて製造供給する。

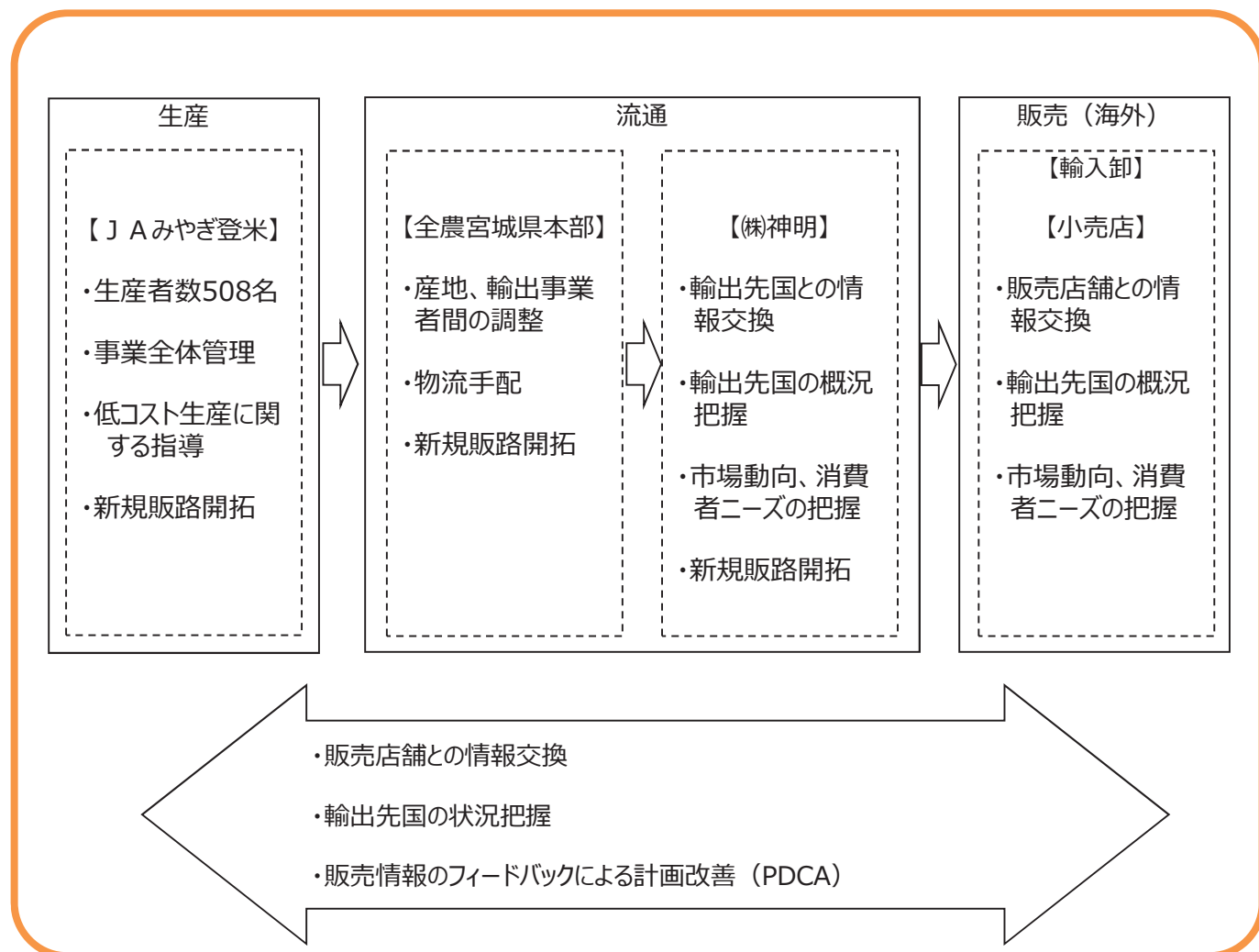
### <販売段階>

- 業務用及び小売店用のニーズに合わせて、高品質が評価されている「ひとめぼれ」と価格面で対応できる多収性品種「つきあかり」を組み合わせ提供できるようにし、安定した品質と大量ロット販売で販路定着に向けて取り組んでいく。

# 輸出事業計画

※申請者名：みやぎ登米農業協同組合、品目：コメ

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

|          | 現状<br>(令和2年度)  | 目標年<br>(令和7年度) |
|----------|----------------|----------------|
| 輸出額（百万円） | 273            | 340            |
| 輸出量（t）   | 2,425          | 3,000          |
| 輸出先国     | 香港、アメリカ、シンガポール | 香港、アメリカ、シンガポール |